



おもな内容

主な議案の内容と質疑	2・3
第2回定例会の日程	3
第1回臨時会	4
市政に関する一般質問(8人が登壇)	5～9
常任委員会の審査	10
審議結果一覧	11
行政視察報告	12

園庭プールで遊ぶ子どもたち

保育園の園庭で夏恒例のプール遊び。園児たちは「冷たくて気持ちいい!」と大はしゃぎ。楽しい夏の思い出ができました!

(8月10日/古城保育所)

農業委員会委員の任命及び 専決処分を同意・承認

第2回定例会のあらまし

平成29年第2回定例会が、6月9日から6月26日までの18日間の会期で開かれました。この定例会には、農業委員会委員の任命、専決処分の承認など20議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり同意・承認されました。

6月15・16日には一般質問が行われ、8人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

また、最終日の26日には、文教福祉常任委員会委員長から2件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

主な議案の内容と質疑

人事

▼議案第1号から

議案第17号まで

旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

農業委員会等に関する法律の改正により、従来、選挙等で選

出していた農業委員会委員について、市長が任命することになり、次の方々が議会で同意されました。
※議案順

- 河津和男氏(八木)
- 渡邊 茂氏(溝原)
- 高野和幸氏(横根)
- 鈴木一久氏(鎌数)
- 田村 博氏(大間手)

- 崎山昭一氏(琴田)
- 宮内利夫氏(三川)
- 伊藤文男氏(大塚原)
- 加瀬一四郎氏(鎌数)
- 根本喜美子氏(琴田)
- 大松優子氏(鎌数)
- 若梅繁由氏(萬力)
- 小川貢司氏(野中)
- 鷺山敦美氏(西足洗)
- 加瀬和英氏(イ)
- 宮貝武芳氏(清和甲)
- 伊藤 浩氏(中谷里)

専決処分

▼議案第18号

旭市税条例等の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の改正に伴い、専決処分をしたものです。

問 わがまち特例は、地方自治体が地域の実情に対応し条例で決めることができる仕組みですが、具体的な内容は。

(林 晴道議員)

答 わがまち特例は、特定事業所内保育施設については、固定資産税を5年間軽減することができ、3分の1以



第2回定例会の日程

6月9日(金) (開会)

- 人事の紹介
- 表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 議長報告事項
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

6月13日(火)

- 議案の質疑
- ◇ 追加日程
- < 討論・採決 >
- 常任委員会へ議案・請願を付託

6月15日(木)

- 市政に関する一般質問

6月16日(金)

- 市政に関する一般質問

6月20日(火)

- 建設経済常任委員会委員協議会

6月21日(水)

- 文教福祉常任委員会

6月22日(木)

- 総務常任委員会

6月26日(月)

- 常任委員長の議案・請願報告
- < 質疑・討論・採決 >

◇ 追加日程

- 発議案の上程
- 提案理由の説明
- < 質疑・討論・採決 >
- ◇ 追加日程
- 旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- 事務報告

(閉会)



木内 欽市議員



佐久間茂樹議員

永年勤続表彰

第93回全国市議会議長会定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに対し、次の2名の方々が表彰されました。おめでとうございます。

上、3分の2以下の範囲において条例で定めることができます。旭市では課税標準で示されている2分の1を採用しました。

▼議案第19号

旭市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について
地方税法等の改正に伴い、専決処分をしたものです。

▼議案第20号

旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
地方税法等の改正に伴い、専決処分をしたものです。

議員在職15年以上表彰
佐久間茂樹議員
木内 欽市議員

決処分をしたものです。

問 今回の条例改正は低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置の対象世帯を拡大するもので、改正に伴う軽減の影響額は。

(林 晴道議員)

答 5割軽減となる対象世帯は1,458世帯、2割軽減となる対象世帯数は1,250世帯で、改正前の軽減判定基準で試算しますと、5割軽減で30世帯、2割軽減で25世帯増えており、軽減額は190万250円の増となります。

報告

▼報告第1号

平成28年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

▼報告第2号

平成28年度旭市一般会計事故繰越繰越計算書について

▼報告第3号

専決処分の報告について(損害賠償の額の決定)



開業から間もなく2年を迎える季楽里あさひ

▼報告第4号

専決処分の報告について(金銭債権に係る訴えの提起及び和解)

▼報告第5号

株式会社季楽里あさひの事業経営状況について

旭市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙結果

6月26日の本会議最終日に選挙を行った結果、次の方々が当選人と決定しました。

●旭市選挙管理委員会委員当選人

- 齊藤 馨 氏(二)
- 向後 保夫 氏(幾世)
- 石田 宏 氏(三川)
- 花香 勝久 氏(萬歳)

●旭市選挙管理委員会補充員当選人

- 宮内 正己 氏(後草)
- 鈴木 一男 氏(東足洗)
- 宮賀 武芳 氏(清和甲)
- 北村 豪輔 氏(飯岡)

第1回臨時会

平成29年第1回臨時会が8月9日に開催され、教育委員会教育長・教育委員の任命及び監査委員・固定資産評価審査委員会委員の選任の6議案が市長より提出され、同意されました。

◇議案第2号

旭市教育委員会教育委員の任命につき同意を求めらるることに付いて

現教育委員の任期が8月18日をもって満了になるため、後任の教育委員を任命するにあたり、次の方が同意されました。

新任 鈴木 典男氏(三川)

◇議案第3号

旭市監査委員の選任につき同意を求めらるることに付いて

諸持耕太郎氏(江ヶ崎)



明智市長3期目がスタート

現監査委員の任期が8月17日をもって満了になるため、後任の委員を選任するにあたり、次の方が同意されました。

再任 木村 哲三氏(八)

◇議案第4号・第5号・第6号

旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるることに付いて

現委員の任期が8月18日をもって満了になるため、後任の委員を選任するにあたり、次の方が同意されました。

再任 高根 雅人氏(ロ)

再任 嶋田 一豊氏(三川)

新任 堀江 通洋氏(萬力)

※固定資産評価審査委員会とは
固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に対する納税者からの不服を審査・決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関です。

有田恵子議員が失職

有田恵子議員は、旭市長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条により、7月16日付で失職しました。

平成29年第1回臨時会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
			林 晴道	高橋 秀典	米本 弥一郎	宮内 保	磯本 繁	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	太田 将範	伊藤 保	島田 和雄	平野 忠作	伊藤 房代	林 七巳	向後 悦世	景山 岩三郎	滑川 公英	木内 欽市	佐久間 茂樹	林 俊介	高橋 利彦	林 正一郎	
市長提出議案																								
1	旭市教育委員会教育長の任命につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○
2	旭市教育委員会教育委員の任命につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○
3	旭市監査委員の選任につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○
4	旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○
5	旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○
6	旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるることに付いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	○

一般質問



市政に関する一般質問は6月15・16日の2日間行われ、8人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

ふるさと納税

返礼品の拡充を

(林晴道議員)

問

本市の農畜産物は全国に誇れるものであると自負しています。地元事業者が生産している加工品等もすばらしいものがさまざまあると認識をしています。それらを返礼品として民間企業から出品や提供をしていただくことで、産業振興や地元企業の活性化となるため、出店者の間口を広げるべきと考えますが、本市の見解を求めます。

答

旭市の特産品が集まる道の駅を全国に発信したいという思いもあり、ふるさと納税をしていただいた方へ道の駅を中心とした返礼品の贈呈を実施してきました。

当初59品目でスタートした返



旭市のふるさと納税を紹介するパンフレット



アニメ映画のモデルとなったいいおかYOU・遊フェスティバルの花火大会

礼品も73品目まで増えましたが、今後も市内業者等でより魅力的な返礼品を提供することが可能であれば増やしていきたいと考えています。

地域活性化

市の知名度向上について

(林晴道議員)

問

アニメ映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」は、映画配給会社でもかなり力を入れているように思いますので、旭市を全

答

国にPRする絶好のチャンスでもありません。特に多くの若年層が関心を持ってくれると思えますので、飯岡灯台周辺を恋人岬や恋人の聖地として、この機会を逃すことなく整備していただきたいと思いますが、本市の見解を求めます。

問

刑部岬からの眺望、恋人岬だけでなく、夕日百景等いろいろな部分で眺望は素晴らしいものがあると感じていますが、これを機会に恋人岬、恋人の聖地、デートスポットにするか、何かモニユメントなど記念のことをやりたいと思っていますので、よろしくお願いをしたいと思います。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 晴道
議員

- 1 Jアラートについて
- 2 生涯活躍のまち構想について
- 3 ふるさと納税について
- 4 消防について
- 5 「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」アニメ映画について



滑川 公英
議員

- 1 健康づくりについて
- 2 道の駅について
- 3 農業について
- 4 奨学金について
- 5 都市公園について
- 6 生涯活躍のまち構想について

都市公園

現庁舎解体後の公園建設は無駄では

(滑川公英議員)

問

昨年12月議会で文化の杜公園への庁舎の移転が議決されました。文化の杜公園を一部廃止して、現庁舎の解体後に都市公園を造るということは、文化の杜公園の補助金1億1,800万円を返還しないための無駄だと言われないためのカモフラージュではないのでしょうか。

答

公園の一部廃止について、都市公園法により、



矢指地区で工事に着手した「日の出山公園」

それに代わる公園について県と協議を進めていました。協議の結果、現本庁舎の場所をより効果的に活用するために、天神公園として整備し、市街地においての休息、レクリエーションの場とし、さらに文化の杜公園と連携して、防災機能の充実を図るということです。

加えて、今年度整備を行ってある築山施設を日の出山公園とし、都市公園とすることで県との事前協議が完了したところですので。

結果的に新庁舎建設に伴い新たな土地を買収することなく、代替の公園を整備することで、現在、都市計画変更案の公告縦覧を行っているところです。

生涯活躍のまち構想

構想に矛盾があるのでは

(滑川公英議員)

問

生涯活躍のまち構想について、農地転用規制を強化しながら、旭中央病院、道の駅周辺を開発するということが矛盾ではないか。

答

生涯活躍のまち構想の計画予定地は、旭中央病院と道の駅の双方に近接であることが、より魅力的であると考えています。確かに旭中央病院の周辺は農振農用地であり、構想を実現するためには農振農用地から除外し、農地転用を行わなければなりません。矛盾ということですが、農業振興地域整備計画を策定したのが平成22年5月であります。その後、まち・ひと・しごと創生法が公布、施行されて、生涯活躍のまち構想を計画するものです。

※農業振興地域整備計画とは
優良な農地を保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に実施するため市町村が定める総合的な農業振興の計画のこと。

消防

消防職員の退職について

(高橋利彦議員)

問

消防本部内のパワーハラメントが新聞で大きく報道され、昨年度100人余りの消防職員の中で、五、六人が



消防職員の訓練風景

中途退職したということを目にしました。その中で、過去5年間の中途退職者の年代別人数と定年退職者数、そして、退職者の人数について伺います。

答

平成28年度の退職者は7名で、20代が2名、30代が2名、40代が1名の計5名が希望退職で、50代の1名が勧奨退職、定年退職が1名です。平成27年度の退職者はいません。平成26年度の退職者は定年退職が3名でした。平成25年度の退職者は4名で、20代の希望退職が1名、50代の勧奨退職が1名、定年退職が2名です。平成24年度の退職者は6名で、20代の希望退職が1名、40代の勧奨退職が1名、定年退職が4名です。



高橋 利彦
議員

- 1 新庁舎建設用地について
- 2 消防について
- 3 行政改革について
- 4 職員駐車場について
- 5 生涯活躍のまち構想について
- 6 広域ごみ処理施設について



有田 恵子
議員

- 1 東京オリンピック事前キャンプ地誘致事業について
- 2 農業委員の選考結果について
- 3 旭市国民健康保険直営滝郷診療所について
- 4 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業について
- 5 旭中央病院の医師マンションについて
- 6 道の駅の建物の今後の修繕費について

休職者は、今年度4名います。今後、消防長、消防次長、総務課長、副市長との連携を密にしながら、現状報告をとらせることにしています。

火災警報器の設置に補助制度を

(高橋秀典議員)

問 住宅用火災警報器の市内全戸への設置及び条例適合を強力に推進すべきと考えます。高齢者世帯への設置に対して市町村が補助するという事例はありますが、一歩進めて、全戸設置に向けた補助制度を検討していただきたい。

答 住宅用火災警報器があれば、早期に発見して被害を最小限度にとどめることはもとより、尊い命を火災から守る



火災警報器

ことができると感じているところ。旭市における住宅用火災警報器の設置率が伸び悩んでいる背景には、諸般の事情があると思いますが、まず市民の皆さんに住宅用火災警報器の重要性を知っていただくことが大事だと考えているところです。

設置率の向上と住宅火災の犠牲者をなくすためにも、住宅用火災警報器設置に対する補助制度について早急に検討して、導入の方向に向けていかなければと考えているところであり、これから準備していきたいと思っています。

行政改革

市長の行革に 取り組む姿勢は

(高橋利彦議員)

問 28年度末に市長車をわずか数年で新しくしました。自分の車ならば、こんな短い期間で更新できない。税金だからできたのか。行政改革を行っている中で、これが市長の行革に取り組む姿勢なのか、全く疑問です。市長の考えは。

答 公用車の更新は、これまでも今後も慣例として必要ではないかなというところの中で、5年で交代をさせていただきました。

公用車の更新については、リースのほうが初めの5年間のリースより高くなるという見積もりが上がりました。そういう見積もりが出てきた中で、何も5年過ぎたから再リースすることが経費の節減ではないというところで判断したところです。

オリンピック・パラリンピック

ドイツ出張の成果は

(有田恵子議員)

問 市長の発言の中で、「ドイツ卓球連合会長と面談した時、事前キャンプを行う場合は、旭市にしたい旨の確約をいただき、かなりの成果があったものと感じたところである」という点ですが、事前キャンプを行わないケースはあるのか。また、「確約をいただく」ということは100%ということですが、「かなりの成果があったと感じる」ということは、せい



事前キャンプ地の練習会場を予定する総合体育館

ぜい50%かなと言いうことができます。一体どちらでしょうか。

答 私の感触としては90%くらいだと感じているところ。ただ、文書の交換はできなかつたという部分もあります。

リオのオリンピックの場合、ブラジルが相当政情不安定で、ドイツは事前キャンプを行わないで直接選手村に入ったというところで、そういった特別の事情がない場合には、事前キャンプをやるということで、口頭とはいえ、確実にはつきりとおっしゃってくれたところです。



伊藤 保
議員

- 1 市の事業内容について
- 2 入学準備金について
- 3 ヘルプカード・ヘルプマークについて



伊藤 房代
議員

- 1 学校給食について
- 2 老人クラブについて
- 3 医療費の無料化について



磯本 繁
議員

- 1 古民家の活用について
- 2 保育の充実について
- 3 いじめについて

道路

三川蛇園線の費用対効果は

(有田恵子議員)

問 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業は予算が24億円ついておりますが、費用対効果の試算式と答えを教えてください。

答 概算の総事業費は25億5,900万円、財源内訳は、国費が11億5,800万円、単独費が14億100万円です。そのうち合併特例債が13億2,100万円で、交付税措置を考慮し概算の市負担額は4億7,700万円程度となっております。

費用対効果については、国土交通省による費用便益分析マニユアルにより算出することになっております。費用対効果は単純な計算式で算出できるものではありません。トンネル部の事業費については、断面の縮小による費用の縮減に現在取り組んでおり、今後、JR等との再協議を調えた上で再積算となることから、現在のところ算出は不可能です。

教育

いじめ防止の体制は

(磯本繁議員)

問 いじめ問題解決のために、学校に頼るだけでなく、学校と家庭が一体となつていかなければなりません。

そこで、本市の場合、児童・生徒に対する目配り等を保護者や学校にどのようにお願いしているのか、お聞きいたします。

答 市教育委員会では、各小・中学校に対しては、いじめを見逃すことのないよう、常日ごろよりお願いしています。市内全ての学校で学校いじめ防止基本方針を策定し、いじめは絶対に許されないという姿勢を持ち、未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいます。

各学校では、相談箱の設置、いじめについての児童・生徒へのアンケートや定期的な面談を通して、早期発見や早期対応に努めています。また、未然防止の一つとして、教職員の定期的な研修などの実施とともに、児童や生徒に対しては、道徳の授業などを中心

人間性豊かな心の育成に努めているところとす。

ご家庭に対しては、各学校で保護者へのアンケートや保護者面談等の実施を通して、いじめを見逃すことがないよう、学校と保護者が協力し、児童・生徒への目配りをしているところです。

入学に対する補助は

(伊藤保議員)

問 現在、各中学校の入学時の制服は幾らするのかわかるのか伺います。併せて制服以外の入学準備金はどのくらいかかるのか、それに対して補助事業があるのか伺います。

答 市内の中学校へ入学する際の制服は、男子で3万5,500円程度、女子で夏服、冬服があり6万5,000円程度です。

高校生の制服については、男子、女子ともに4万6,000円から5万7,000円程度です。

市内中学校の入学時に制服のほかには、ジャージ、体操服、上履き、通学用バッグ、通学用

ヘルメット、自転車の購入費など合計で約4万8,400円程度の負担があるものと思われます。本市では、ご家庭の負担軽減のため、通学用ヘルメットの補助があります。生徒1人につき1回限り、1,250円ほどを補助させていただいているところです。

福祉

ヘルプカード・ヘルプマークの内容は

(伊藤保議員)

問 ヘルプカード・ヘルプマークについて、どう

うものか内容を伺います。これに対し市の取り組みは。

答 ヘルプカードは、ヘルプマークが記されたカードで、緊急連絡先や必要な支援内容を記載し、障害のある方が災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのものです。

ヘルプマークは、外見では分かりにくい障害のある方や妊娠初期の女性など、援助や配慮を必要としている方々が、周囲に知らせるために東京都が作成したマークです。

千葉県では今年度ヘルプカード4万枚を作成し、バスや電車で席を譲るなどの配慮を呼びかける啓発用チラシと併せ、保健所や市町村の窓口で配布すると



高橋 秀典 議員

- 1 住宅用火災報知機について
- 2 旭市国民保護計画について
- 3 定住促進について
- 4 企業誘致について
- 5 デュッセルドルフ訪問について



援助が必要なことを知らせるためのヘルプカード

しています。旭市も、県の取り組みと歩調を合わせ、広報等を通じて広く市民に周知するとともに、必要な方へヘルプカードの配布を行っていききたいと考えています。

老人クラブを活発にできないか

(伊藤房代議員)

問 老人クラブを地域で発足させ、お茶を飲みながらおしゃべり会や、昔の物語を読み合わせしたり、学校の通学路の交通安全を手伝ったり、小学生たちに本を読み聞かせたり、体操をしたりするなど、自分の体に責任を持ち、最後まで頑張るために、皆さんが喜んで出席できるように老人クラブに強化できないか質問します。

答 老人クラブの補助事業が少ないということは、本当に気にかけていたところだと思います。大きな団体ですので、支援をしていかなければと考えています。今年組織充実費ということで100万円を予算化したところですが、これからも老人クラブの会員の動向や、新たな組織ができるのかどうかといった部分

も十分精査、把握をしながら老人クラブの組織拡充に支援をしていきたい。それが高齢化社会の行政においての責任でもあると考えています。

高3までの医療費無料化を

(伊藤房代議員)

問 現在、中学3年生まで医療費は無料化になっています。東京都では私立高校授業料無償化が決定されたと聞いています。我が旭市には、私立高校はありません。その分、高校3年生までの子どもたちの医療費の無料化ができないか質問します。

答 医療費の無料化については、県の市長会でも各市から要望が出ています。県が医療費の補助事業に取り組んでいただければ、その2分の1くらいは県から出るといこともあり、実際、市の財政が軽減されるのかなと思います。現状においては、中学3年生までを対象に2億864万円、そのうち1億3,300万円余りを市が負担しています。近隣の動向を踏まえながら、検討を加えていき

たいと思っております。

商工業

古民家活用で地方創生を

(磯本繁議員)

問 銀行などでは古民家を活用した事業に特化した古民家事業支援融資制度や、中小企業を対象に古民家活用を支援する保証制度を実施しています。地方創生に向けた市の活性化に

もつながらと思われれます。市においても、PRに努めていただきたいと思いますが考えをお聞かせいたします。

答 中小企業に対する資金の貸付及び利子補給制度は古民家の活用を含めた事業についても活用できます。

また、商工観光課にワンストップ窓口を設置し、創業者望者への相談に応じるとともに、商工会と連携した創業支援セミナーを開催し、受講者に対し、会社設立時の登録免許税の軽減、創業関連融資の保証枠の拡大などの優遇措置があり、古民家を活用した事業にも利用できると思います。

そのほかに、商店街の空き店舗を活用した事業に改修費や賃借料の2分の1を助成しています。

今後は、古民家を活用した事業等の支援策について、調査・研究してみたいと考えています。

ICTを活用した企業誘致を

(高橋秀典議員)

問 総務省では地方創生の一環として、地方、ふるさ

とで暮らしながらも、ICTを活用することで都市部にいるのと同じように働ける環境を実現するふるさとテレワークを推進しています。工業団地の分譲が終了した今、企業の支社機能あるいはサテライト事業の地方展開に対して、積極的に誘致を進めていくべきと思います。現在の優遇制度は、製造業を中心としたものですので、ふるさとテレワークが想定するような事業にも対象を拡大するべきと思いますがいかがですか。

答 本市では平成28年度事業で飯岡地区に1社の企業がこの制度を利用し、東京本社と飯岡オフィス間で業務を行っています。

現在本市の企業誘致については、製造業を中心に行っていることに伴い、今後はふるさとテレワークなどの企業の一部の移転やソフト事業関連の進出が予想されますので、国や県など他団体の状況を注視して研究していききたいと考えています。

※ICTとは

情報処理や通信に関する技術、産業、設備、サービスの総称のこと。



創業支援の研修も行われる商工会館

常任委員会の審査

文教福祉常任委員会

6月21日(水) 午前10時～
請願2件の審査

文教福祉常任委員会審査の様子



請願第2号
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採
択に関する請願について

請願第3号
国における平成30(2018)年度教育予算拡充に
関する意見書採択に関する請願について

審査の結果

請願第2号、請願第3号とも全員賛成で採択

※請願・陳情

市民の皆さんが国または地方公共団体に対して種々の事項に関し、要望する方法として、請願・陳情があります。請願は議員の紹介を必要とするなどの一定の要件がありますが、陳情は必要としません。提出された請願・陳情は、定例会で審議し、採否を決めます。

総務常任委員会

6月22日(木) 午前10時～
3議案の審査

矢挿川の津波対策で設置される
フラップゲートを視察する
総務常任委員会委員



議案第18号
専決処分の承認について
(旭市条例等の一部を改正する条例)

問

条例のただし書き以降にある市県民税申告書と確定申告書のいずれも提出された場合、これらの申告書に記載された事項その他の事業を勘案して、この規定を適用しないことが適当であると市長が認めたとときは何か。

答

特定配当等の所得を含めた所得税の確定申告書が提出されている場合であっても、その後の市県民税申告書の申告で記載された事項を基に課税できることが明確化され、申告者が有利な課税方式を選択できるようになりました。

審査の結果

委員会付託の3議案については、全員賛成で原案のとおり可決

委員会の審査終了後、日の出山公園(築山)、海岸
基盤整備事業(矢挿川、横根排水路)を視察

議会を傍聴しませんか

第3回定例会が9月1日(金)から行われます。議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいでください。なお、市役所本庁と各支所ロビー、千潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子が放映されています。また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしております。さらに、議会録画中継(本会議)も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することができますので、ぜひご利用ください。



詳しくは議会事務局へ

☎62-5304

FAX62-5384

平成29年第2回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 早=早退 議=議長 退=退席 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			林 晴道	高橋 秀典	米本 弥一郎	有田 恵子	宮内 保	磯本 繁	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	太田 将範	伊藤 保	島田 和雄	平野 忠作	伊藤 房代	林 七巳	向後 悦世	景山 岩三郎	滑川 公英	木内 欽市	佐久間 茂樹	林 俊介	高橋 利彦	林 正一郎
市長提出議案																								
1	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 河津和男氏(八木)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 渡邊 茂氏(満原)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 高野和幸氏(横根)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 鈴木一久氏(鎌数)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 田村 博氏(大間手)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 崎山昭一氏(琴田)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 宮内利夫氏(三川)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 伊藤文男氏(大塚原)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 加瀬一四郎氏(鎌数)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 根本喜美子氏(琴田)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 大松優子氏(鎌数)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 若梅繁由氏(萬力)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 小川真司氏(野中)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 鷲山敦美氏(西足洗)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 加瀬和英氏(イ)	同意	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 宮負武芳氏(清和甲)	同意	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 伊藤 浩氏(中谷里)	同意	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	専決処分の承認について(旭市税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	専決処分の承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	専決処分の承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願																								
2	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	「国における平成30(2018)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案																								
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第1～17号は6/13に採決 議案第18～20号、請願、委員会提出議案は6/26に採決

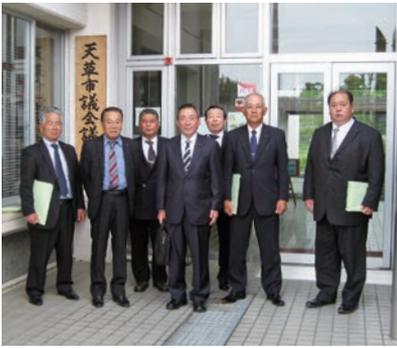
行政視察報告

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は、4月24日から26日まで、熊本県八代市、天草市、宇城市を視察しました。

八代市では、輸出促進、6次産業化のため、「フードバレー八代基本戦略構想」を策定し、新商品の開発と八代港を利用した海外への輸出にも取り組み、効果を上げていました。

天草市は、雇用の確保のため、天草市起業創業・中小企業支援センター「アマビズ」を創設し、新規創業者への支援により、新規雇用が179人あり大変効果が出ていました。次の、天草物産公社では、農水産物が多品目、



天草市を視察した建設経済常任委員

少数生産であったため、公社が共同で注文を受けることで、効果を上げておりました。

宇城市の道の駅不知火は、食事と温泉が大好評で、地元産品も数多く販売され、生産者の経営安定に大きく貢献していました。

総務常任委員会

総務常任委員会は、5月17日から19日までの3日間、北海道旭川市、深川市、千歳市を視察しました。

旭川市では、「まちなか交流館」を視察し、旭川市の魅力を観光客や市民の情報発信の場として活用されていました。次の旭山動物園は、市営の施設で、スタッフの工夫により看板などは手作り、施設の維持、修理等は、市民ボランティアで行っており、市民から親しまれ、愛されている施設であると感じました。

深川市では、移住・定住施策について視察しました。移住定住相談窓口を設置し、日帰り移住や宿泊体験移住等、さまざま



旭川市を視察した総務常任委員

な体験メニューを用意していました。

千歳市では、学習交流センター「そなえる」を視察しました。この施設は、災害時には対策本部等の拠点施設としての機能があり、ヘリポートがある防災訓練広場や野営生活訓練広場などがあります。平成17年度の開設から今日までに30万人の方が利用しており、災害に対して危機管理意識が高い市であることを感じました。

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会は5月25日、滋賀県大津市を視察しました。

大津市議会だよりは、年5回の発行、宅配業者から各自治会へ配布し、各世帯への配布

を委託しています。しかし、自治会への加入率は70%弱で、自治会未加入者に対しては、市民センター、コンビニエンスストア、駅等にも置いているそうです。また、閉会后1か月程度で発行というスピードです。

議会だよりの中身は、議会改革と連動して紙面の充実が図られており、市民から反響が大きいのは、市政のビフォー・アフターという記事で、過去に行った議員の質問が、どのように市政に反映されたかを追跡し、掲載しています。

その他では、大津市議会の政策検討委員会でミッションロードマップを策定しており、議会が任期4年間で取り組むべき項目を設定した上で、議会だよりで公表し、分かりやすく発信していました。



大津市議会を視察した議会だより編集委員

編集後記

先日、総務省が発表した今年の住民基本台帳に基づく1月1日時点の人口動態調査によると、国内の日本人は前年から30万8,084人少ない1億2,558万3,658人でした。8年連続の減少で、人口に占める65歳以上の割合は過去最高の27.17%に達し、出生数は100万人を割り込み、少子高齢化と国内人口の先細りが加速しているとのことです。

旭市においても同様で、人口減少と少子高齢化で、将来の市の財政状況の厳しさは増していくことが予想されます。これからの旭市の更なる飛躍と徹底した行政改革を、三期目の明智市長の行政手腕に期待するとともに、議会としても、重要課題として取り組んでいかなければなりません。ぜひ、多くの市民の皆様のご意見をいただきたいと思っております。(副委員長・宮内 保)

旭市議会だより編集委員会

- 委員長 高橋 秀典
- 副委員長 宮内 保
- 委員 米本 弥一郎
- 委員 林 晴道